

## 令和4年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立花畑北中学校 校長 浅香 英典

## 1 学校教育目標

- 深く考え、自ら学ぶ人
- 自他を尊重する心豊かな人
- 心身ともにたくましい人

## 2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ① 学校の図書館を活用し、読書の楽しさを教え、心豊かな生徒を育てる。
- ② 学校図書館の情報を効果的に活用し、主体的に学び、表現できる生徒を育てる。
- ③ 読書に親しみ、読書習慣を身に付けさせる。

## 3 学校図書館の現状（令和3年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 7,912 冊（蔵書基準冊数 6,080 冊）／ 蔵書率 130%（元年度末 125%）									
	② 新規購入図書 295 冊 ／ 廃棄図書 0 冊 ／ 増減冊数 295 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2.6%	3.5%	7.0%	9.2%	7.1%	4.2%	1.8%	10.1%	4.8%	49.7%
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間：12：30～17：00									
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 11.5 冊（前々年度末：14.4 冊）									
	③ 学校図書館利用率 2.471 %（前々年度末：3.879 %）									

## （令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 7,996 冊（蔵書基準冊数 5,440 冊）／ 蔵書率 147 %									
	② 新規購入図書 84 冊 ／ 廃棄図書 冊 ／ 増減冊数 84 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2.6	3.5	7.0	9.1	7.0	4.2	1.8	10.0	4.8	50.0
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間：12：30～17：00（前年度からの変更 あり・なし）									
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 14.7 冊（前年度末：14.4 冊）									
	③ 学校図書館利用率 2.179 %（前年度末：2.471%）									

## 4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 小学校からの読書週間を継続しながら、読書に親しむ意欲を育成する。</li> <li>② 学校図書館を活用した調べる学習を通して、問題発見・解決能力の育成を図る。</li> <li>③ 図書の借り方や扱い方等、正しく利用する態度を育てる。</li> </ol>									
今年度の成果目標					達成基準					
<ol style="list-style-type: none"> <li>① 休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書を行うことができる。</li> <li>② 図書館の本や新聞等を活用しながら調べる学習を進め、課題に対して自分の考えをまとめ、表現することができる。</li> <li>③ 学校図書館の決まりや仕組みを知る。</li> </ol>					<ol style="list-style-type: none"> <li>① 第1学年の生徒一人あたりの年間平均貸出冊数前年度比10%増</li> <li>② 学年生徒の調べる学習コンクール参加率50%以上</li> <li>③ 学校図書館オリエンテーションの学年全生徒の受講率100%</li> </ol>					
目標達成状況										

- ① 学年のフロアに図書館があるため利用者は多かったが、貸出率は5%増にとどまった。
- ② タブレットを多用したために、図書を使った調べる学習には取り組めなかった。
- ③ 学校図書館オリエンテーションは4月の早い段階で実施することができた。

<b>第2学年</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 読書の幅を広げようとする意欲を育てる。</li> <li>② 課題解決のために学校図書や ICT 機器を使い分けることによって、情報を取捨選択する能力を身に付ける。</li> <li>③ 学校図書館のより良い運営について考えることにより、規範意識を育てる。</li> </ul>
-------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今年度の成果目標	達成基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書ができる。</li> <li>② 課題解決のために、本や新聞、ICT 機器の情報を使い分け、探求することができる。</li> <li>③ 学校図書館の分類方法等を理解し、適切な本の選択をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 第2学年の生徒一人当たりの年間貸出冊数前年度比5%増。</li> <li>② 学年生徒の調べる学習コンクール参加率60%以上。</li> <li>③ 課題解決学習の授業を年10回以上。</li> </ul>

**目標達成状況**

- ① 図書館のあるフロアから離れてしまったため利用率、貸出率ともに増やせなかった。
- ② 調べる学習コンクールには参加できなかった。
- ③ 課題解決学習の授業については年間15回実施できた。

<b>第3学年</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 読書を通して、様々な考え方に触れ、考えを深める意欲を育てる。</li> <li>② 学校図書や ICT 機器を活用した課題解決学習を通して、言語能力の育成を図る。</li> <li>③ 学校図書館の運営に主体的に参加し、社会性を養う。</li> </ul>
-------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今年度の成果目標	達成基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書ができる。</li> <li>② 課題解決のために、本や新聞、ICT 機器の情報を使い分け、探求したことを発表することができる。</li> <li>③ 日本分類十進法を理解し、新着図書の分類をスムーズに行うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 第3学年の生徒一人当たりの年間貸出平均冊数前年度比5%増。</li> <li>② 学年生徒の調べる学習コンクール参加率70%以上。</li> <li>③ 課題解決学習の授業を年10回以上。</li> </ul>

**目標達成状況**

- ① 図書館まで距離があるので、移動図書館を階段の踊り場に設置し、図書委員を使って貸出業務を行ったので貸出冊数が5%増えた。
- ② 図書館まで遠いため授業で使うことが難しく調べる学習コンクールに取り組めなかった。
- ③ 課題解決学習には取り組んだが、図書館の有効利用には至らなかった。

**5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果**

取組計画・方針	成果・効果
<p><b>【蔵書・配架等に関すること】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 新着図書の受け入れ、登録作業を夏季休業までに完了させる。</li> <li>② 日本十進分類法に基づいた3桁分類をして、必要な図書を見つけやすい環境を整える。</li> </ul>	<p>図書の内容を充実させることができた。</p> <p>見つけやすい環境を整えたが、日本十進分類法の指導が不十分だったため生かしきれなかったのが課題である。</p>
<p><b>【学校図書館支援員との連携・協働】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 学校図書館オリエンテーションを、支援員と連携・協働して取り組む。</li> <li>② 調べ学習の資料などについて積極的に支援員へ相談や情報交換を行う。</li> <li>③ 読み聞かせ教室の実施に向けて支援員と相談、情報交換を行う。</li> <li>④ より魅力のある学校図書館だより作成に向けて支援員と連携し、生徒の読書意欲向上に努める。</li> </ul>	<p>学校図書館オリエンテーションを協働して実施することができた。</p> <p>調べ学習は活発に行えず生かしきれなかったのが課題である。読み聞かせ教室の時間が空取れなかった。</p> <p>学校図書館だよりの発行によって生徒の読書に対する興味関心が高まった。</p>

**【その他】**

- ① 年度末の貸出図書返却率が100%となるように取り組む。

貸出図書返却率100%を達成。

**6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）**

- ① 放課後、生徒の自主学習の場所としても利用されており、広範囲に利用してもらうことができた。
- ② 場所が校舎の隅にあることで利用しにくい環境にあるので、職員室前に移動図書館を設置することで図書の貸し出しが活発になった。
- ③ 更に図書の魅力を発信し、読書週間の定着を図るのが課題であり、改善のために図書館場よりの内容を改善していく。

**7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）**

- ① 図書館の配置も見やすく、利用しやすいように工夫されていることがわかります。
- ② 図書館の場所的なハンデを克服するために、職員室前に移動図書館を設置するなど工夫が見られます。
- ③ 読み聞かせなどの取り組みを一層活発にすると、図書への魅力に気づく生徒が増えると思います。